

## 平成26年度中間期 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

### ■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

- ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化に努めます。
- 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底を図ります。
- 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献に努めます。

### ■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備(外部専門家・外部機関等との連携を含む)の状況

- 平成24年6月、CS本部内に「提案推進室」を設置し、戦略3本部、CS本部、融資本部の組織横断的連携を強化しました。
- 平成25年1月、オリックス、ジェイ・ウィル・パートナーズと業務提携し、事業再生子会社2社を設立。事業再生支援への取組を強化しました。
- 平成25年4月、営業店・本部が一体となって、お取引先の課題解決を支援する「ソリューション部」を設置しました。
- 平成26年12月、様々なライフステージにあるお客さまへのサポートの更なる向上に向け「中小企業サポート委員会」を設置しました。
- 中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構、東日本大震災事業者再生支援機構に職員を派遣し連携を強化しました。
- 高品質な提携ネットワークの拡大を図っています。(内外金融機関、公的機関、自治体、経済団体、商社、物流、大学、シンクタンク等)

### ■ 中小企業の経営支援に関する取組状況(支援内容、外部専門家・外部機関等との連携、取組事例等)

#### a.創業・新規事業開拓の支援

- 平成15年より助成金制度(ニュービジネス助成金・コンソーシアム研究開発助成金)を運営
- 関西の主要な大学と「産学連携基本協定」締結(15大学)
- 企業間技術マッチング(M&A、業務提携・技術提携、共同開発)
- 「関西活性化融資ファンドI(ワン)」「関西活性化融資ファンドII(ツー)」創設
- 「クリニック応援ローン」「介護事業応援ローン」取扱い



ニュービジネス助成金 授賞式

#### b.成長段階における支援

- アジア・チャイナビジネスのサポート(海外進出支援、海外販路開拓、クロスボーダーローン等)
- 公的金融機関や現地銀行、異業種との提携
  - ・国際研修協力機構との業務協力協定締結
  - ・海外現地銀行と業務協力協定締結(12カ国11行)
  - ・日本政策金融公庫と池田泉州キャピタルが、ベンチャー支援で業務連携
  - ・近畿経済産業局の「関西中小企業ベトナム展開金融支援チーム」に参画



ベトナム事業展開サポート(TV会議)

- 堺市との共催によるベトナム事業展開サポート

#### c.経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- ビジネスマッチングによる販路開拓支援
- 条件変更に応じた先等について、経営改善計画の策定支援
- 大阪府中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構の活用
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構及び関西地域の金融機関等とともに「関西広域中小企業再生ファンド」を組成
- 事業承継、M&A支援、「プロが」「中長期的に」「幅広く」「オーダーメイドで」

### ■ 地域の活性化に関する取組状況

- 自治体・商工会議所・大学等と合同企業説明会を開催
- 「関西活性化シンポジウム」開催
- 「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014」開催
- 自治体・商工会議所との連携(18府市町)、産業振興融資ファンドの創設
  - ・「地域ブランド」応援定期預金として、「水なす定期便」発売
  - ・大阪府、大阪市との「環境・エネルギー分野における連携協定」締結
  - ・宝塚市とがん検診の受診率向上に向けた連携協定締結
- 「熊取町転入促進・定住促進住宅ローン」「川西市親元近居住宅ローン」「豊能町親元近居住宅ローン・リフォームローン」の取扱い



ビジネス・エンカレッジ・フェア2014オープニングセレモニー